

平成25年10月9日(水)開催決定！！

大ベストセラー『大往生したけりゃ医療とかかわるな』の著者が講演します。

特別講演「大往生したけりゃ医療とかかわるな ～自然死のすすめ～」

講師：中村仁一氏（社会福祉法人老人ホーム「同和園」附属診療所所長、医師）

○日 時：平成25年10月9日（水）午後1時開場 参加費無料

○会 場：大阪市中央公会堂中集会室（3階） 定員500名(当日受付)

大阪市北区中之島1-1-27 TEL:06-6208-2002

地下鉄御堂筋線「淀屋橋」駅下車1番出口から徒歩約5分

京阪電鉄「淀屋橋」駅下車徒歩約5分、「なにわ橋」下車徒歩約1分

○プログラム：1. 大会： 13:30～14:00

2. 特別講演：14:00～15:30

3. 懇談会： 15:40～16:30（参加者と支部役員との意見交換会）

◇◇◇講師・中村仁一氏プロフィール◇◇◇

講師略歴：1940年長野県生まれ。社会福祉法人老人ホーム「同和園」付属診療所所長、医師。

京都大学医学部卒業。財団法人高雄病院病院長、理事長を経て、2000年2月より現職。

1996年4月から、市民グループ「自分の死を考える集い」を主宰。

主な著書に、「大往生したけりゃ 医療とかかわるな」（幻冬舎新刊）「老いと死から逃げない生き方」「幸せなご臨終―「医者」の手にかかって死なない死に方」（ともに講談社）がある。

○参加費：無料 会員外の方もお誘い合わせのうえ、お気軽にお越しください。

お 問 合 せ

日本尊厳死協会関西支部 TEL06-4866-6365 FAX06-4866-6375

主催：一般社団法人日本尊厳死協会関西支部 URL (<http://www.songen-ks.jp>)

「リビング・ウイル」を、ご存知ですか？

尊厳死の宣言書 登録のおすすめ

健やかに生きる権利、安らかに死ぬ権利を、自分自身で守るために

（英語で、生きているということをリビング、遺言書をウイルといいます。）

死んだのちに効力を発生するのではなく、生きている本人の、生きた遺言書、

つまり生前発効の遺言という意味です

リビング・ウイルの要旨

- ① 私の傷病が、現代の医学では不治の状態であり、既に死が迫っていると診断された場合には、ただ単に死期を引き延ばすためだけの延命措置はお断りいたします。
- ② ただしこの場合、私の苦痛を和らげるためには、麻薬などの適切な使用により十分な緩和医療を行ってください。
- ③ 私が回復不能な遷延性意識障害（持続的植物状態）に陥った時は生命維持装置を取りやめてください。

以上、私の宣言による要望に従って下さった行為一切の責任はこの私自身にあります。

（日本尊厳死協会リビング・ウイルより）

医師の大部分が、このリビング・ウイルで会員の願いを認めています。死亡会員のご遺族へのアンケートで、毎年検証しています。協会はリビング・ウイルを登録・保管しています。

リビング・ウイルを必要に応じて医師に示して下さい。

みなさん、いざというときに備えて、会員になりませんか。尊厳死運動の輪を広げましょう。日本医師会も日本学術会議も、尊厳死を容認しています。

会費：年会費 2 千円（夫婦の場合、3 千円）

◇入会の手続き、資料請求は関西支部までご連絡下さい。

一般社団法人 日本尊厳死協会 関西支部

〒532-0003 大阪市淀川区宮原 4-1-46 新大阪北ビル 702

T E L . 06-4866-6365 FAX. 06-4866-6375

E-mail:kansai@songenshi-kyokai.com

URL [http:// www.songen-ks.jp](http://www.songen-ks.jp)